



## バドミントンで好成績！

9月24日、10月14日にKALENオープンバドミントン大会がクロスパルこがで開催されました。白熱した試合が繰り広げられるなか、町体育協会所属の羽根クラブのメンバーは好成績をあげました。

○社会人大会(9月24日 200人出場)

団体戦初心者 準優勝

個人戦ダブルス初級

準優勝 堺慎介(中央駅西)・廣畑伍(上府)

個人戦ダブルス初心者

優勝 元梅聖(下府1)・北心音(杜の宮)



▲好成績を残した羽根クラブのメンバー

○第76回ジュニア大会(10月14日 250人出場)

シングルス中学生TOP 優勝 元梅韻(下府1)

シングルス小学生高学年B 優勝 山口茉珠(緑ヶ浜)

(敬称略)



▲見事銀メダルを獲得した新宮ジュニアオーシャンズ

## メダル獲得！

10月7日・8日にカブトの森公園野球場(篠栗町)でイエローカップ少年野球大会(小学5年生以下)が開催されました。20チームが出場し、町体育協会所属の新宮ジュニアオーシャンズは善戦して銅メダル(第3位)を獲得しました。

また、10月21日・27日・28日に芦屋町総合グラウンドで開催された芦屋町長杯争奪少年野球大会では、6年生を中心に全32チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。新宮ジュニアオーシャンズは5年生で大会に挑み、大健闘！見事銀メダル(準優勝)に輝きました。

## ミニバスケットボールがんばっています

10月8日・21日に平成30年度糟屋地区ミニバスケットボール秋季大会が須恵第3小学校他で開催されました。10チームによる熱戦が繰り広げられ、町体育協会所属のBeat女子ミニバスケットボールクラブが見事優勝を果たしました。

また、10月28日、11月4日にグローバルアリーナ(宗像市)他で開催された平成30年度U12中部地区部会秋季選手権大会では、16チームが参加するなか、準優勝しました。今後のさらなる躍進が期待されます。



▲大活躍のBeat女子ミニバスケットボールクラブ

## 剣道大会で優勝

10月8日に宇美八幡宮奉納少年剣道大会が宇美南中学校で開催されました。

町体育協会所属の新宮新誠会の村上愛春さん(上府)は中学生女子個人の部で優勝しました。団体戦では、中学生男子の部、中学生女子の部ともに第3位の好成績を収めました。



▲見事優勝した村上さん



▲男女ともに第3位の好成績!



▲力いっぱいがんばりました

## 新宮町大活躍!

10月28日に福岡久山相撲場で第38回糟屋郡少年相撲大会が開催されました。町代表として出場した子どもたちは、特訓の成果を発揮し、優秀な成績を収めました。

【団体戦】小学生の部 準優勝 新宮Aチーム

【個人戦】小学生の部

3年生 優勝 高倉久裕(夜白1)

第3位 竹山昊志(三代)

5年生 第3位 河村仁斗(三代)

6年生 第3位 長友駿汰郎(花立花)

(敬称略)

## プロ野球選手の技術を吸収!

11月11日に新宮中学校グラウンドで、東京ヤクルトスワローズ野球教室が開催されました。福岡ライナース、新宮ジュニアオーシャンズ、新宮イーグルスの子どもたちが、近藤一樹投手、三輪正義内野手、坂口智隆外野手から直接指導を受けました。

プロ野球選手から身体の使い方や声の掛け合い方などを直接学ぶことができ、子どもたちはたくさん質問をしたり、投げ方を相談したりするなど充実した時間となったようでした。

指導を受けた子どもたちのなかから、プロ野球選手が誕生するかもしれません。選手もその日を楽しみにしていると話していました。



▲投球フォームを教わりました



## 地域に根ざした活動に感謝

10月22日に開催された県社会福祉大会で、県知事から竹ノ上彰さん(下府1)に表彰状、県社会福祉協議会会長から中野京子さん(上府)に表彰状、高下武さん(緑ヶ浜)に感謝状が贈呈されました。

竹ノ上さんは、平成13年4月から民生委員・児童委員として活動を開始し、住民の相談や高齢者の見守りなど、地域の方が安心して生活ができるように、献身的な活動を続けられています。

中野さんは、平成13年4月から町母子寡婦福祉会会長に就任し、ひとり親家庭および寡婦の生活向上、毎週金曜日の子どもたちの学習支援や夏休みの体験事業など、次代を担う子どもの健全育成に積極的に取り組まれています。

高下さんは、平成11年7月から社会福祉法人新宮町社会



▲左から高下さん、中野さん、竹ノ上さん

福祉協議会の評議員・役員に就任し、法人の会長も務め、経験を生かして積極的に地域福祉の推進に尽力されてきました。

いずれも、多年にわたる地域に根ざした活動への功績が認められての表彰となりました。



▲ポスターとともに  
黒瀬さん(左)、石川さん(右)

## 糟屋地区明るい選挙啓発 ポスターコンクール入賞!

10月24日に、サンレイクかすや(粕屋町)で糟屋地区選挙啓発推進大会が開催されました。糟屋地区明るい選挙啓発ポスターコンクールの表彰式が行われ、7,774点もの作品のなかから、石川さん、黒瀬さんが入賞しました。

このポスターは、将来を担う小中学生に選挙の大切さを理解してもらうために、糟屋地区内の小中学生を対象に募集したものです。

【小学校6年生の部】金賞 石川杏樹さん(花立花)

【中学校2年生の部】銀賞 黒瀬夏希さん(花立花)

## 先人の声に耳を澄ませました

11月22日にシーオーレ新宮で「大人のためのおはなし会」を開催しました。参加者は、幼いころに囲炉裏端でおじいさんやおばあさんが語ってくれたような雰囲気の中で、日本や世界の民話のストーリーテリング(語り)に耳を傾けました。語り手は発足2年目のくすの木語りの会(会員10人)です。

### 【くすの木語りの会からのお知らせ】

幼児のためのおはなし会(毎月第2土曜日)にもぜひお立ち寄りください。現在、一緒に活動するメンバーも募集しています。気軽に図書館へ問い合わせください。

問い合わせ先 町立図書館 ☎962-5500



▲くすの木語りの会メンバー

## あふれる個性 響くハーモニー

11月10日に相島小学校体育館で相島小中合同文化祭が開催されました。漁村留學生が加わり、合唱や劇もパワーアップ。島民のみなさんによるパワフルな歌声や、大正琴などで懐かしのメロディーも披露され、終始笑顔の絶えない和やかな雰囲気文化祭となりました。

ステージパフォーマンスだけでなく、子どもたちや島民のみなさんによる個性あふれる作品展示もあり、にぎやかな作品の数々とともに、訪れたみなさんを楽しませていました。



▲衣装にもこだわり、劇に挑戦！



▲それぞれが楽器を担当して演奏♪



▲真剣な表情で工作



▲ぬいぐるみが図書館にお泊り

## 読書の秋、本づくし

11月10・11日にシーオーレ新宮で図書館まつりを開催しました。

10日は絵本作家の塚本やすしさんの絵本ライブを行い、親子100人が読みきかせ、ライブペインティング、ティッシュペーパーで作るお寿司づくりに挑戦しました。完成したお寿司を塚本さんに見せて握手をしてもらい、みなさん嬉しそうにしていました。

11日の消しゴムはんこ教室では、先生の指導のもとカッターで苦戦しながらも、年賀状に使える素敵なはんこを作りました。他にもぬいぐるみお泊り会、おすすめの本をセットにした「福袋」、しおり作り、ブックリサイクルなど、本と読書に親しんだ2日間となりました。



▲ライブペインティング



## 白熱！ドッチビー



▲白熱した試合が繰り広げられました

11月18日に、新宮中学校と新宮東小学校で、子ども会育成連合会が主催し、新宮町子ども会スポーツ交流会が開催されました。低学年キッズ部門33チーム、高学年ジュニア部門30チームが出場し、総勢1,218人の白熱したプレーに会場は熱気で包まれました。

この日のために一生懸命に研修を積んだ子どもリーダー研修会のメンバーが審判や司会などの大会運営を行い、交流会を成功させました。

低学年キッズ部門		
会場 順位	新宮中学校 (23チーム)	新宮東小学校 (10チーム)
優勝	中央駅前B	ファーネスト新宮
準優勝	中央駅前C	混成A
3位	緑ヶ浜D	混成B
4位	中央駅西B	混成C

※混成A (立花口・夜白1 (新宮小校区)・パークシティ)  
混成B (原上・三代 (立花小校区))  
混成C (夜白2・夜白4)

高学年ジュニア部門		
会場 順位	新宮中学校 (20チーム)	新宮東小学校 (10チーム)
優勝	杜の宮E	ファーネスト新宮
準優勝	中央駅前C	夜白2区
3位	緑ヶ浜E	花立花B
4位	杜の宮G	新宮

※2か所での開催のため、それぞれ2チームの表彰となります。

## 交通安全の推進に 貢献しています

11月13日、福岡市で第34回福岡県交通安全県民大会が開催され、新宮町交通安全指導員のみなさんが、日ごろの活動に対して表彰されました。

○福岡県交通安全推進市区町村表彰優秀賞

○シルバーセーフティーコンクール組織活動等特別賞



▲高齢者講習では、交通ルールを再確認！



▲交通安全教室では、右見て左見て道路を渡る練習



▲ダブル受賞となりました

## 100%新宮町産の オリーブオイルが完成！

新宮町オリーブ研究会では、消費が低迷してきたミカンに代わる基幹作物、また、荒廃農地対策として平成24年からオリーブの植樹に取り組んでいます。

昨年初めて搾油し、約16kgのオリーブから約800ccのオイルがとれました。2度目となる今回は、約60kgのオリーブから約3ℓの搾油に成功しました。

これまで、風による倒木やオリーブアナアキゾウムシによる食害、オリーブの品種と土壌の性質の不一致による生育不良など困難の連続でした。しかし今年は、ミカン栽培で培った接ぎ木技術などの経験を生かし、収穫量の増加につなげることができました。

新宮町オリーブ研究会では、今後もオリーブの植樹数を増やし、多くの実を収穫するため研究を重ねていきます。高品質なオリーブオイルの生産や、オリーブの塩漬けなどの商品開発にも取り組んでいく予定です。

※オリーブオイルなどの販売は未定です。



▲大きく実ったオリーブの実



▲完成したオイルを手にする新宮町オリーブ研究会の岩隈正利さん(原上)

## 世界を オレンジ色に染める RUN伴+ 2018



▲タスキがつながりました

RUN伴(ランとも)とは、認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくりを目指し、リレーでタスキをつないで北海道から沖縄まで日本全国を縦断するイベントで、今年で8年目を迎えます。

認知症の人や家族、支援者、一般の人が認知症サポーターを示すオレンジ色のTシャツを着て、7月に北海道をスタートしました。本州を縦断したタスキは、11月3日のまつり新宮のステージで、福津市のつやざき園の入所者とスタッフから届けられ、グループホーム Ever 夜臼、グループホーム しんぐう、在宅介護者こぶしの会や町民のみなさんが見守るなか、長崎町長が受け取りました。その後、福岡市東区のなみきスクエアでの福祉イベントに参加し、福岡市にタスキをつなぎました。

タスキは11月25日に沖縄に届き、今年も海を渡って台湾までつながりました。今後もこの活動が注目され、ますますオレンジ色が広がりを見せていくことが期待されます。